

総合南東北病院

外科専門医研修プログラム



目次

1. プログラムの使命・理念.....	1
2.研修プログラムの概要.....	1
3.専攻医の受け入れ数と症例数.....	2
4.専攻医の到達目標.....	10
5.カンファランス.....	10
6.教育環境・学会発表、論文指導について.....	10
7.外科医に必要なコアコンピテンシー.....	11
8.連携施設の紹介.....	12
9.専門研修の評価・フィードバック.....	16
10.プログラム管理委員会.....	16
11.専攻医の就業環境について.....	17
12.修了判定.....	17
13.外科研修の休止・中断・移動について.....	17
14.採用について.....	17
15.院内・サービス施設など.....	19
16.保育園.....	19



1.プログラムの使命・理念

総合南東北病院外科専門研修プログラム（以下、本プログラムとする）は、標準的かつ包括的な外科医療を学ぶ環境を提供し、将来的に臨床外科学の最新知識・スキル・テクニックを駆使して全人的な医療を実践できる専門医を育成すること、さらには、外科医の育成を通じて国民の健康長寿および社会福祉に貢献することを使命としています。

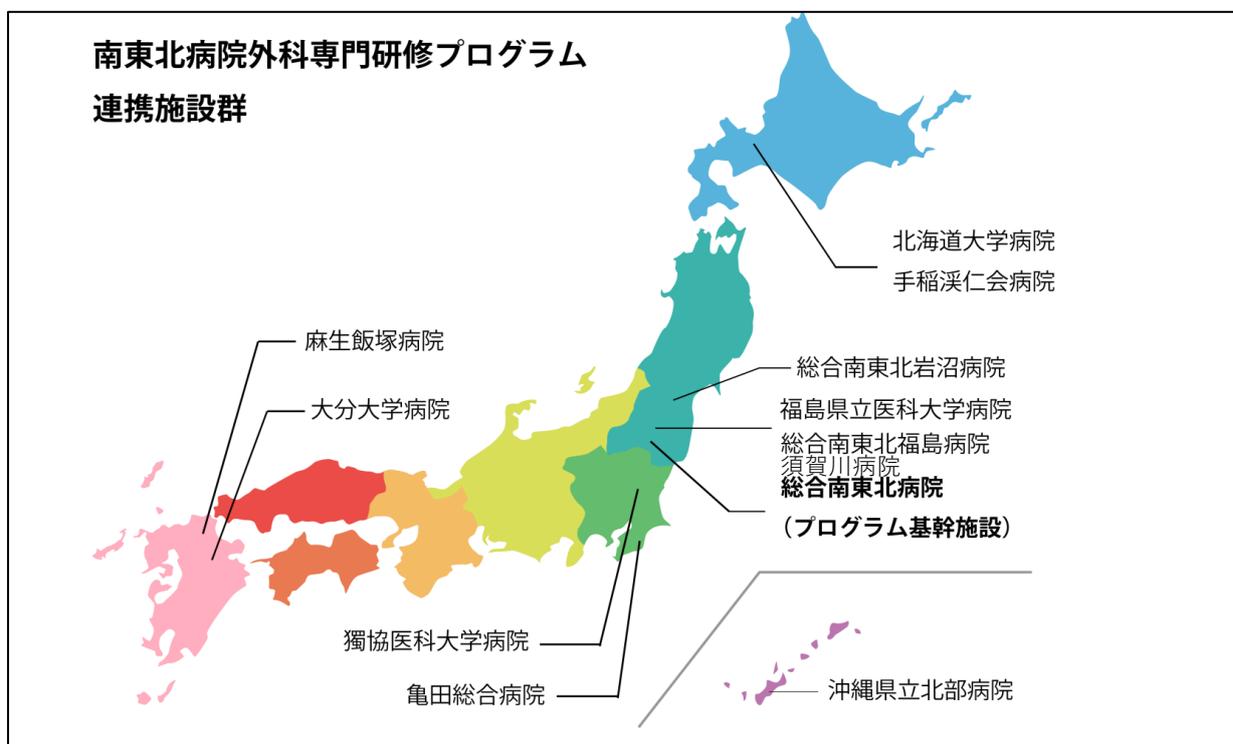
本プログラムの基本的理念は以下の通りです。

- (1) 幅広い診療経験・知識の修得が出来る環境を提供する
- (2) 問題解決を主体的に行うプロフェッショナルとしての姿勢を養わせる
- (3) サブスペシャリティ領域との連動および専攻医のキャリアパスを尊重する

2.研修プログラムの概要

本プログラムではトレーニングは、総合南東北病院と11か所の連携施設により構成される専門研修施設群で行います。本プログラムの最大の特徴は以下の2点です。

- ① 北海道から九州まで、最前線で地域医療を担うアクティビティーの高い病院と連携することで、地域や医局にとられないバランスのとれた外科研修を提供する
- ② 各専攻医の希望に応じて自由度の高いオーダーメイド式の研修プログラムを組むことが出来る。



基本的な研修期間は3年間とし、基幹施設である総合南東北病院では6か月間の研修を義務としていますが、残りの2年6か月は希望の連携施設を選択できます。3年以降にはサブスペシャリティ領域での研修を継続することも可能です。各連携施設はいずれも豊

総合南東北病院（基幹施設）における手術件数

基幹施設の総合南東北病院では、様々な分野の手術について数多く経験できます。
具体的な手術件数について示します。

<平成 29 年度 手術件数>

消化器外科

胃癌	116例	（腹腔鏡下	90例）
大腸癌	177例	（腹腔鏡下	144例）
食道癌	9例		
肝切除術	37例	（腹腔鏡下	12例）
胆嚢摘出術	159例	（腹腔鏡下	136例）
急性虫垂炎	73例	（腹腔鏡下	70例）
鼠径ヘルニア	127例	（腹腔鏡下	110例）
乳癌	66例		
膵頭十二指腸切除術	11例		

心臓血管外科

心臓疾患	110例
大血管疾患	103例
末梢血管疾患	141例
その他	15例

呼吸器外科

肺癌	70例
その他	60例



★専門研修プログラム統括責任者からのメッセージ



総合南東北病院 副院長 高野祥直

専門分野：消化器外科全般 とくに大腸腹腔鏡手術、ヘルニア

当院は福島県郡山市にあり、地域がん診療拠点病院・地域医療支援病院となっています。消化器領域では癌に対する標準治療としての手術だけではなく、様々な急性腹症に対する手術も術者として豊富に経験することができます。また、心臓血管外科、呼吸器外科も豊富な症例数を誇っており、診療科の垣根が低いため、一人ひとりの希望に応える形の研修ができます。他の連携施設での研修も含め、最終的には様々な人々とコミュニケーションが取れ、人に決めてもらうのではなく自分で物事を決めることができる自立した外科医の育成を目標とします。

★総合南東北病院の各専門科紹介



【消化器外科】本多通孝 専門分野 上部消化管・内視鏡外科手術

本プログラムの特徴は、なんとといっても2年6か月の研修内容を自由に選択できる点にあります。しかも、研修先の選択肢は全国区の地域医療を担う拠点病院がたくさんあり、夏は北海道で、冬は沖縄で、という研修も可能です。まさに自分自身で作り上げる研修プログラムなのです。一つの施設のやり方をしっかりと身に着けることも大切ですが、外科医の手技は多種多様ですので様々な指導医と出会い、幅広い技術や柔軟な思考回路を養うことも重要です。日々の忙しい業務に埋没してしまい目的を見失わないように、また人間関係のマンネリ化を防ぐためにも、このような幅広い選択肢を用意しました。自分で決めた研修プログラムを自分自身でやり遂げた時の達成感、外科医としての成長は、何にも代えがたいものになるでしょう。ぜひ全国に人脈を作って羽ばたいていただきたいと思いま

す。なお、3年間の研修を通じて、各メンターがその後のキャリアパスも含めて定期的に面談を行い、軌道修正を行っていきます。専攻医がひとりも脱落することなく、実りある研修生活を過ごされることを願っています。

消化器外科を志す後期研修医にとって、基幹施設である総合南東北病院の豊富な症例数は後期研修医が執刀経験を積む機会に恵まれています。実際、虫垂炎や胆石などの緊急手術は毎日のようにあります。このような一般外科的なトレーニングを十分に積むと同時に、将来のサブスペシャリティを意識した研修を提供することも当院の使命と考えています。後期研修医であっても、困難な悪性腫瘍症例への外科手術に参加していきます。当院は東北地方でも有数の手術実績をもつがん診療拠点病院です。内視鏡外科手術、ロボット手術などの低侵襲治療のみならず、化学療法、放射線治療を含む集学的治療を積極的に行っています。難しい症例にチームで取り組み、目的を達成したときの充実感は今後の外科人生を支える大きな柱になるでしょう。上部・下部消化管、肝胆膵領域いずれも複数の専門医で指導に当たり、研修終了後には全国どこの施設に移っても活躍できる外科医を育成します。





【心臓血管外科】 緑川博文

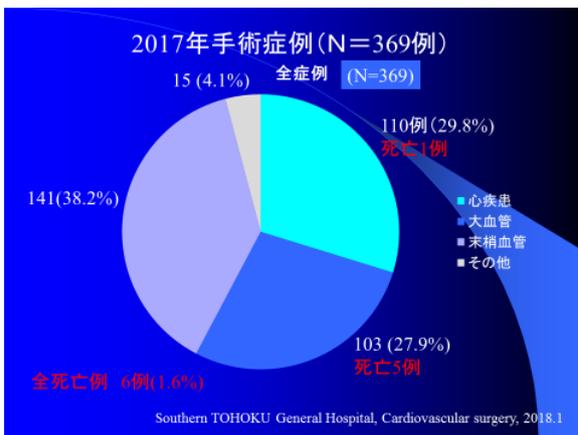
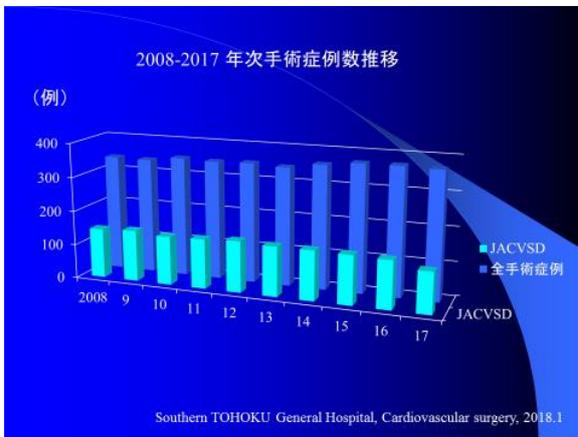
心臓循環器センターは、センター長 菅野恵先生を中心に、循環器内科医 6 名、成人心臓血管外科 4 名、小児心臓外科 1 名と、県内では大学以外で最も充実したスタッフで、365 日 24 時間救急も含め心臓循環器疾患に取り組んでおり、ICU の整備、人員などの工夫でより緊急対応が可能な状態となっております。影山理恵先生は外科専門医取得のため 8 月まで当院外科研修中で、9 月には心臓血管外科にもどる予定です。また渡邊晃佑君は東北大学大学院進学、高野隆志君は須賀川病院心臓血管外科出向させています。さらに砂田将俊君は当グループの総合東京病院心臓血管外科立ち上げに向けてがんばっています。昨年 9 月から今年 3 月まで研修していた関晴永先生は、東京医科歯科大学心臓血管外科にはいり 4 月からは東京都立広尾病院での後期研修を開始しました。

センター長菅野恵先生を中心とした心臓血管外科チームの手術症例数は、年間 300 例以上をコンスタントに行い、昨年は 372 例を記録、年間 400 例も視野に入りつつあります。成人部門では、体外式 VAD 申請を行ったことで、心臓移植以外のほぼすべての疾患を網羅しております。また民間病院では珍しい小児先天性心疾患、特に複雑心奇形にも対応しております。心拍動下冠動脈バイパス術を県内で最も早くから導入し、現在でもほぼ全例をこの術式で行っています。弁膜症に関しては、より QOL の高い治療法をその患者さんの病態や全身状態に合わせ、弁形成および弁置換を行っており、必要性が高ければ心房細動に対する Maze 手術も行っており、昨年 3D 心エコー装置の導入もあり、さらによりよい手術成績に貢献しうるものと考えています。

大動脈瘤治療は、年間 100 例以上行っており、東日本で有数な施設です。従来 of 外科手術に加え、より低侵襲治療であるステントグラフト治療を積極的に施行し、アジア地区初の導入であり Ziehm Vision RFD（可動式フラットパネル血管造影装置）を手術室に導入し、現在 2 機の血管造影装置を手術室に備え、緊急手術にも対応しえる設備となっております。末梢動静脈疾患に対しても、従来 of 外科手術に加え、ステント治療を中心としたカテーテル治療も積極的に施行し、末梢血管のためのステントグラフト、内腸骨動脈再建ステントグラフト IBE も東北では先駆けて臨床使用を開始しております。

心臓血管外科チームは、外科手術のみを行っているのではなく、心臓カテーテル検査含めた診断にも積極的に関与するとともに、本来最も大切な病気にならないような予防的アプローチ、また病因論からの治療アプローチ、禁煙指導、栄養指導（塩分制限、カロリー制限、ダイエット）、糖尿病および脂質代謝異常などの観点から、菅野恵先生を中心に積極的に介入し、より質の高い治療を目指しています。今後は、ハイブリッド手術室建設計画を進め TAVI 申請を早々に行いたいと思っております。そして、関連病院である総合東京

病院での循環器センター計画、また新百合ヶ丘病院心臓血管外科の充実も本院の心臓血管外科チームが担う予定になっており、ますます人員の増員および教育によるレベルアップを図り、一人でも多くの優秀な心臓血管外科育成に万進していきたいと思っております。





【呼吸器外科】藤生浩一

当院呼吸器外科は、呼吸器センター長の宮元秀昭、科長の藤生浩一、2018年4月から加わった医長の叢岳の3名体制です。2017年の実績では、呼吸器外科手術約130例、内、肺癌手術約70例です。標準開胸での肺葉切除、完全鏡視下肺葉切除はもちろん、進行癌に対しては宮元が得意とする胸骨縦切開アプローチによる系統的縦隔リンパ節郭清にも対応しています。さらに、低侵襲治療を目指し、da Vinci手術の準備も進めています。また呼吸器内科との合同による気管支鏡検査では、EBUS-TBNA、EBUS-GSにも対応しています。

当コースで呼吸器外科診療に必要な手技は全て習得できるものと確信しています。患者さん第一をモットーに、安全で、過不足のない外科治療をできる呼吸器外科医を育てたいと考えています。さらに当院には、PET、陽子線、サイバーナイフ、BNCT、da Vinciまであり、肺癌をはじめとしたこれからの呼吸器診療のパイオニアとなるに必要な装置はすべて揃っているといっても過言ではありません。呼吸器疾患で苦しんでいる患者さんに施せる立派な医師を目指し指導します。やる気のある医師の参加を希望しています。

★後期研修医の声



氏名：滝浪 学

卒業年：2012年

出身大学：北里大学

初期臨床研修：総合南東北病院

所属：心臓血管外科

後期研修略歴：2014年4月 当院 心臓血管外科所属、2014年9月 昭和大学江東豊洲病院 心臓血管外科研修、2015年9月 当院 外科研修、2016年9月より当院 心臓血管外科(現在)。2017年に外科専門医取得。

■後期研修で重要だと感じた事は、豊富な臨床経験と手術経験、環境

私は元々、どんな手術も行えて臨床研究も実践するアカデミックサージャンになりたいと考えていました。後期研修先として大学や他施設も考慮しましたが、手術経験と発表や研究のバランス、他施設への留学や連携形態が整っている事、指導医の熱い指導力等を考慮し、当院に所属する事にしました。福島県の地域中核病院を担っており、救急症例含め多くの様々な症例が集まります。また他科との垣根は低く、私は外科研修中でも毎週土曜と暇な時間は心臓血管外科医として手術に携わる事ができ、専門医等の資格に必要な臨床経験を短期に積める環境が揃っていると思います。

■研究や発表も可能な体制

当院では、後期研修医でもどんどん学会発表をすべきという理念があり、院内でも毎週各科合同の症例検討会があります。普段の臨床から発掘する臨床研究を指導医の先生方が積極的に学会発表や論文作成ができるように導いてくれます。当番制のため、週末に十分な勉強や研究する時間も確保でき、公私ともに充実した日々を送っています。欲張りな研修を望んでいた自分にとって最適でした。

■メッセージ

当然、眠る暇のない当直や厳しく指導されることはありますが、それ以上に学び、飛躍できる機会がたくさんあります。やる気のある方は是非当院で共に修練し、理想の医師像を実現させましょう。

5.専攻医の到達目標

専攻医研修マニュアルの到達目標 1（専門知識）、到達目標 2（専門技能）、到達目標 3（学問的姿勢）、到達目標 4（倫理性、社会性など）をご参照ください。

6.カンファランス

（基幹病院：南東北病院 消化器外科コースの例）

カンファランスは院内全体のもの、領域・臓器別、診療科別にそれぞれ行っており、専攻医は積極的に参加しプレゼンテーションを行います。治療方針の決定に対しても積極的に発言できる場になっています。

	月	火	水	木	金	土	日
7:30	朝回診・透視検査・処置など						
AM	全体ミーティング	術後カンファ	上部消化管カンファ	多職種カンファ	症例検討会		
	手術	手術	手術	手術	外来	当番制 (処置・病棟・救急外来当番)	
PM	手術	手術	手術	手術	外来		
		夕回診	夕回診	夕回診	夕回診	夕回診	
その他	下部消化管カンファ		消化器カンサーボード		レクチャー		
	領域別カンサーボード						

7.教育環境・学会発表、論文指導について

手術開始までに、病棟業務を一通り終わらせることで全員が日中は手術室に入り、学べる環境を作ること心掛けています。交代制で病棟当番をおいていますがコールは少ないです。日中は手術に専念できる環境です。またシミュレーターによる内視鏡外科手術のトレーニング、若手によるビデオクリニック（自分の手術ビデオを振り返り検討するカンファ）を不定期に開催しています。年に1回、アニマルラボトレーニングを実施します。

標準的な専門書、手術書など十分に蔵書されています。和文・英文ともに外科領域のオンラインジャーナルを多数契約しています。また文献の取り寄せも可能です。症例報告のみならず、意欲があれば英文原著論文の執筆にも挑戦できます。将来的に学位取得・大学院進学を検討している専攻医は、連携する大学および総合南東北病院に設置されている大学寄付講座の枠組みで外科研修とキャリアパスの両立を目指すことも可能です。希望者は早めにご相談ください。

8.外科医に必要なコアコンピテンシー

医師として必要なコアコンピテンシーとして「態度」、「倫理性」、「社会性」などの習熟が含まれています。医師としての責務を自律的に果たし信頼されること（プロフェッショナリズム） 医療専門家である医師と患者を含む社会との契約を十分に理解し、患者、家族から信頼される知識・技能および態度を身につけます。患者中心の医療を実践し、医の倫理・医療安全に配慮すること 患者の社会的・遺伝学的背景もふまえ患者ごとの的確な医療を目指します。 医療安全の重要性を理解し事故防止、事故後の対応をマニュアルに沿って実践します。臨床の現場から学ぶ態度を習得すること 臨床の現場から学び続けることの重要性を認識し、その方法を身につけます。チーム医療の一員として行動すること チーム医療の必要性を理解しチームのリーダーとして活動します。 的確なコンサルテーションを実践します。後輩医師に教育・指導を行うこと 自らの診療技術、態度が後輩の模範となり、また形成的指導が実践できるように学生や初期研修医および後輩専攻医を指導医とともに受け持ち患者を担当し、チーム医療の一員として後輩医師の教育・指導を担います。保健医療や主たる医療法規を理解し、遵守すること 健康保険制度を理解し保健医療をメディカルスタッフと協調し実践します。 医師法・医療法、健康保険法、国民健康保険法、老人保健法を理解します。 診断書、証明書が記載できます。



9.施設群の紹介

基幹施設

- 一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院
住所：〒963-8563 福島県郡山市八山田七丁目 115 番地
病床数：461 床
NCD 症例数：1,611 例
職員数：2,163 名
医師数：151 名
指導医数：12 名
統括責任者：高野 祥直
1 日平均外来者数：1,599 名
年間入院患者数：186,357 名
年間外来患者数：471,560 名
年間手術件数：8,466 件
年間救急車台数：5,591 台
年間救急外来患者数：19,232 件

特徴：福島県の県中地区である郡山市の中核病院です。地域医療支援病院であり、総合病院として様々な診療科を展開し地域の医療に貢献する一方、先進医療機器（陽子線治療・BNCT・サイバーナイフ・ダヴィンチ）を積極的に導入し、全世界に向けて高度先進医療を提供しております。がん診療連携拠点病院として各科が連携し、高度ながん治療を実践しており、経験豊かな専門医師のもとに全国から患者が集まっています。

東京駅⇄郡山駅間は新幹線で約 80 分、大阪空港⇄福島空港間も飛行機で 65 分とアクセスも良好です。

連携施設：（北から順）

- 北海道大学病院
住所：〒060-8648 札幌市北区北 14 条西 5 丁目
病床数：908 床（一般病床：838 床）
NCD 症例数：1,739 例
指導医数：41 名
専門研修指導責任者：松居 喜郎

●手稲溪仁会病院

所在：北海道札幌市手稲区前田1条12丁目(JR手稲駅，直近)

病床数：670床

NCD症例数：1,974例

指導医数：10名

(肝胆膵外科高度技能指導医1名、肝胆膵外科高度技能専門医1名、食道外科専門医2名、
内視鏡外科技術認定医6名)

地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、救命救急センター、ドクターヘリ基地病院、
地域災害拠点病院、日本肝胆膵外科学会高度技能医修練施設A、
日本呼吸器外科学会専門医制度認定施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本乳癌
学会認定施設

当院の特徴，研修中に経験できること

- ・手術室15室（腹腔鏡専用室2、ハイブリッド手術室2）
- ・救命救急センター30床で、緊急手術多い。
- ・手術症例数が豊富、毎日が手術日で、3～4室、並列で手術。専攻医の執刀多い。
- ・癌拠点病院であり、年間：大腸癌230例、胃癌100例、食道癌30例、肝胆膵の腫瘍
150例、肺癌100例。
- ・内視鏡下手術に幅広く適応（胃全摘、膵体尾部切除、肝切除、食道切除、大腸）
- ・多くの疾患をERASで管理（胃、大腸、肝、胆、膵）

●総合南東北病院（岩沼）

住所：〒989-2483 宮城県岩沼市里の杜一丁目2-5

病床数：271床

NCD症例数：495例

指導医数：4名

専門研修指導責任者：吉野 泰啓

●福島県立医科大学附属病院

住所：〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

病床数：778床（一般病床：713床）

NCD症例数：1,726例

指導医数：33名

専門研修指導責任者：木村 隆

●南東北福島病院

住所：〒960-2102 福島県福島市荒井北三丁目 1 番地の 13

病床数：205 床

NCD 症例数 124：例

指導医数：2 名

専門研修指導責任者：藤田 康喜

●獨協医科大学病院

住所：〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町大字北小林 880

病床数：1,195 床（一般病床：1,153 床）

NCD 症例数：2,365 例

指導医数：22 名

専門研修指導責任者：窪田 敬一

●亀田総合病院

住所：〒296-8602 千葉県鴨川市東町 929 番地

病床数：917 床（一般病床：865 床）

NCD 症例数：例

指導医数：18 名

専門研修指導責任者：草薙 洋

●麻生飯塚病院

住所：〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

病床数：1,048 床（一般病床：978 床）

NCD 症例数：2,286 例

指導医数：15 名

専門研修指導責任者：古賀 聡

飯塚病院は 41 万人の福岡県筑豊地域の中核病院です。多数の診療科を擁し、多くの基礎疾患を持たれている患者さんに対しても、複数科が連携して高度なチーム治療を提供しています。また「がん診療連携拠点病院」として、多くのがん患者さんの手術や抗がん剤治療を行っており、手術症例数は、九州でも常にトップクラスの実績を誇っています。

研修中に経験できること

豊富で多彩な外科系症例が集まることから、これまでも外科専門医やサブスペシャリティ領域専門医の修練施設としての非常に大きな役割を果たしてきました。また、筑豊地域では唯一の 3 次救命救急センターを併設しており、年間約 420 例（内訳：外科約 300 例、呼吸器外科約 10 例、心臓血管外科約 90 例、小児外科約 25 例）の緊急手術症例を含む多

くの外科系救急患者の診療を経験できます。研修内容は可能な限り専攻医のみなさんの希望に沿って検討しますので、当院での連携施設研修に興味のある方はお気軽にご相談ください。

【 飯塚病院概要 】

職員数： 合計 約 2,400 名
 医師 約 300 名
 看護師約 1,100 名
 医療技術者約 550 名
 事務他約 500 名
診療科： 40 科、2 部（救急部、集中治療部）

【 飯塚病院 NCD 登録症例総数 年間約 2,200-2,300 例 】

消化管・腹部 約 1,100 例
乳 腺 約 150 例
呼吸器 約 300 例
心臓・大血管 約 300 例
末梢血管 約 150 例
小児外科 約 150 例

●大分大学医学部附属病院

住所：〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地
病床数：618 床（一般病床：588 床）
NCD 症例数：1,303 例
指導医数：23 名
専門研修指導責任者：杉尾 賢二

●沖縄県立北部病院

住所：〒905-8512 沖縄県名護市大中 2-12-3
病床数：327 床（一般病床：325 床）
NCD 症例数：376 例
指導医数：2 名
専門研修指導責任者：八幡 浩信

●須賀川病院

住所：〒962-0022 福島県須賀川市丸田町 17

病床数：114 床（一般病床：114 床）

NCD 症例数：126 例（心臓血管外科領域）

指導医数：2 名

専門研修指導責任者：佐藤 晃一

須賀川病院は、循環器に特化した病院であり、心臓血管外科、循環器内科の垣根を越えた循環器疾患治療を行っております。心臓血管外科にても最新のカテーテル治療を導入しており、今後外科医が必要とする血管治療手技を習得しやすいです。

10.専門研修の評価・フィードバック

研修実績管理システム（オンライン）を用いて運用します。研修実績管理システム上で、専攻医と指導医が評価・フィードバックを行います。また、プログラム委員会においてもその結果に介入し、必要に応じて専攻医・指導医に対して指導・助言をしながら改善を図ります。

専門研修の 1 年目、2 年目、3 年目のそれぞれに、コアコンピテンシーと外科専門医に求められる知識・技能の習得目標に基づいた筆記テストを行い、達成度を確認します。その結果に基づき、専攻医に対して指導・助言をしながら改善を図り、確実な専門医試験合格をサポートします。

各専攻医には指導医とは別個に、志望進路や年次の近い外科専門医取得者をジュニアメンターとして配置します。専攻医に寄り添い、研修生活をサポートします。また、必要に応じて指導医に指導体制に対する提案・助言をします。

11.プログラム管理委員会

基幹施設（総合南東北病院）に専門研修プログラム統括責任者および管理委員会を設置します。連携施設群には、専門研修プログラム連携施設担当者と専門研修プログラム委員会組織が置かれます。本プログラム管理委員会は、専門研修プログラム統括責任者（委員長）、副委員長、事務局代表者、外科の 3 つの専門分野（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科）、および連携施設担当委員などで構成されます。研修プログラムの改善へ向けての会議には専門医取得直後の若手医師代表が加わります。専門研修プログラム管理委員会は、専攻医および専門研修プログラム全般の管理と、専門研修プログラムの継続的改良を行います。

12.専攻医の就業環境について

- 1) 専門研修基幹施設および連携施設の外科責任者は専攻医の労働環境改善に努めます。
- 2) 専門研修プログラム統括責任者または専門研修指導医は専攻医のメンタルヘルスに配慮します。
- 3) 専攻医の勤務時間、当直、給与、休日は労働基準法に準じて各専門研修基幹施設、各専門研修連携施設の施設規定に従います。

13.修了判定

3年間の研修期間における年次毎の評価表および3年間の実地経験目録にもとづいて、知識・技能・態度が専門医試験を受けるのにふさわしいものであるかどうか、症例経験数が日本専門医機構の外科領域研修委員会が要求する内容を満たしているものであるかどうかを、専門医認定申請年（3年目あるいはそれ以後）の3月末に研修プログラム統括責任者または研修連携施設担当者が研修プログラム管理委員会において評価し、研修プログラム統括責任者が修了の判定をします。

14.外科研修の休止・中断・移動について

専攻医研修マニュアル VIII を参照してください。

15.採用について

<採用方法>

総合南東北病院外科専門研修プログラム管理委員会は、毎年 7 月から説明会等を行い、外科専攻医を募集します。プログラムの応募者は研修プログラム責任者宛てに以下の 1~4 の書類を提出してください。

1. 願書 1 通
2. 履歴書 写真貼付してください。
3. 医師免許証写し 当院で卒後臨床研修を実施中の方は、提出不要です
4. 研修修了証明書 研修修了証明書もしくは研修終了見込証明書

申請書は

- (1) 総合南東北病院の専攻医募集サイト

<http://resident.minamitohoku.or.jp/senmon/index.html> よりダウンロード

- (2) e-mail で問い合わせ kensyu@mt.strins.or.jp

のいずれの方法でも入手可能です。書類選考及び面接を行い、静養を決定して本人に通知します。応募者及び選考結果については総合南東北病院外科専門研修プログラム管理委員会において報告します。

<研修開始届け>

研修を開始した専攻医は、各年度の 5 月 31 日までに以下の専攻医氏名報告書を、日本外科学会事務局および外科研修委員会に提出します。

- ・専攻医の氏名と医籍登録番号、日本外科学会会員番号、専攻医の卒業年度
- ・専攻医の履歴書（様式 15-3 号）
- ・専攻医の初期研修修了証

<修了要件>

日本専門医機構が認定した外科専門研修施設群において通算 3 年（以上）の臨床研修を行い外科専門研修プログラムの一般目標、到達（経験）目標を取得または経験した者。（専攻医研修マニュアル参照）

16.院内・サービス施設など

絆ガーデン

〒963-8052 福島県郡山市八山田七丁目 10（南東北 BNCT 研究センター内）

TEL：024-934-5335

FAX：024-934-5384

概要

「絆ガーデン」は、南東北グループ職員が一般財団法人脳神経疾患研究所の附属施設（以下、「当院」という）での研修や診療応援、出張等の為に提供する職員宿舎です。また、研修等で使用しない場合の空室は遠方より通院する患者さんやそのご家族、入院中の患者さんのご家族などもご利用いただけます。



ボンジュール

1階 レストラン「ボンジュール」（営業時間 11時00分～15時00分） ※但し日曜、祝日、年末年始除く



17.保育園

保育施設：南東北こども学園

〒963-8051

福島県郡山市富久山町八山田字土布池 55-5

入園定員 200 名

平成 29 年 4 月 1 日開園

TEL：024-926-0909

南東北こども学園は、一般財団法人脳神経疾患研究所が運営する企業主導型保育事業 事業
所内保育所（認可外保育施設）になります。

小学就学前までの子どもの保育（病児保育含む）を行い、日中に加え休日や夜間も含め 24
時間 365 日子どもをお預かりしております。

対象年齢：産休明けから小学校就学前の乳幼児

保 育 料：0 歳児～2 歳児 月額 33,000 円

3 歳児 月額 26,000 円

4 歳児以上 月額 25,000 円

※給食・おやつについて、0 歳児～2 歳児までは月額料金に含み、3 歳児以上は、別途徴収
（1 食 150 円）。

